

十三健康かわら版

平成28年1月 / 第33号



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。年末はゆっくり過ごされたことと存じます。

当院では種々の手段を用いて皆様に医療に関する情報を提供しています。

健康講座は地域の皆様を対象として年2回開催しています。昨年10月に実施した整形外科医師による「ひざ関節の痛み・腰の痛み」は130名の参加者があり、大変盛況でした。

また、いきいき健康セミナーは原則として毎月実施しており、当院の看護師やコメディカルスタッフが講師を務めています。身近で役立つ情報を提供しています。

外来の待合に設置しているモニターでは各科の医師が作成した病気の知識や治療法をわかりやすく提示しています。

これらに関する情報は昨年12月にリニューアルした病院ホームページで見ることができますので活用していただければと思います。

これからも地域の住民の皆様に愛され、信頼される病院をめざして職員一同、日々取り組んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



病院長 大川 清孝

当院へのアクセス

電車

- ・阪急神戸線「神崎川」駅から
南東へ約8分
- ・阪急「十三」駅から
北西へ約12分

大阪市営バス

- ・JR大阪駅前～約20分
- ・阪急宝塚線三国駅前～約10分
69系統「榎木橋」行きで「十三市民病院」下車すぐ
69系統「大阪駅」行きで「十三市民病院」下車すぐ

□ 診療科紹介 <循環器内科>

2015年10月より循環器内科を標榜することになりました。

●循環器内科とは

1. 心臓や大動脈、末梢動脈、肺動脈など、血液が循環する臓器の病気を扱う診療科を循環器内科といいます。
2. 循環器内科では、狭心症や心筋梗塞、弁膜症、不整脈、大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈血栓症、高血圧、肺高血圧などの診断・治療を行います。
3. 日常生活における胸部不快感や息切れや動悸症状、歩行時や自転車に乗った際の足のしびれや疼痛など、循環器の病気を疑わせる症状は、たくさんあります。



内科副部長 小松 龍士

●高度医療技術による診断・治療

循環器疾患に対する診断・治療は日進月歩です。当院では最新の機器を導入し、診断・治療に役立てています。

☆日常生活において胸部不快感や息切れがあるなら・・・

狭心症などの虚血性心疾患が疑われます。当院にて、運動負荷試験、心エコーなどで評価をします。当院では2015年9月に128列CTが導入されました。このCTで冠動脈を評価することもできます。さらに評価が必要であれば、入院していただいて(1~2泊入院)、心臓カテーテル検査を行います。

☆動悸、ふらつきなどの症状があるなら・・・

動悸、ふらつきの原因となる不整脈があるかどうか、診断することが必要です。通常は24時間心電図で精査をしますが、当院では携帯型心電計を貸出ししますので、ご自身で測定していただき、不整脈の診断をいたします。

失神や心不全症状を引き起こす徐脈性不整脈に対しては、病状に応じて永久ペースメーカー留置をおこない、症状を改善させます。

☆夜間に寝苦しく、目が覚めるような症状があるなら・・・

心不全が疑われます。胸部レントゲン、心エコー、胸部CTなどの精査が必要です。心不全の原疾患の精査も含めて、当院で検査・治療を行います。

☆歩行時などの足のしびれや疼痛があるなら・・・

下肢の閉塞性動脈硬化症が疑われます。下肢動脈を触れるだけで、診断はつきます。詳細な検査として、脈波ポリグラフや下肢造影CT、下肢MRIで確定診断をつけ、閉塞や狭窄病変があれば、下肢動脈形成術を行います。

普段全く症状がなくても、定期的な健康診断は受けるようにしましょう。また、健康診断や市民検診を受けたことがある方は、もう一度そのときの結果を見返してはいかがでしょうか。生活習慣病と診断されている、また、その疑いがあると指摘されているのであれば、症状がなくても早めに循環器内科専門医に相談されることをお勧めします。患者さんから安心して、気楽に受診できる循環器内科として、地域医療のお役に立てるよう努めていきますので、よろしく願いいたします。

いきいき健康セミナー開催

実は奥が深い糖尿病の検査

中央臨床検査部 野村 仁志

10月16日のセミナーでは、誰もが気になっている糖尿病、その検査が、実は奥が深いということを知っていただこうと思い行いました。我々の予想を超えるたくさんの方にご参加頂き、ありがとうございました。簡単ですが、お話しした内容をご紹介します。

●糖尿病は怖くない？

いいえ怖い病気です。病気の名前だけを見ると、おしっこに糖が出る病気なのですが、糖尿病は、
①治らない病気です。さらには、②糖尿病が原因で様々な病気にかかりやすくなります。悪性新生物（癌）・心疾患（心筋梗塞など）・感染症（肺炎など）・脳血管疾患（脳梗塞）などにかかりやすくなります。これらの病気は日本人の死因上位4つです。③様々な病気が治りにくくなります。④様々な合併症が起こります。これらのことから、糖尿病が怖い病気だといえます。

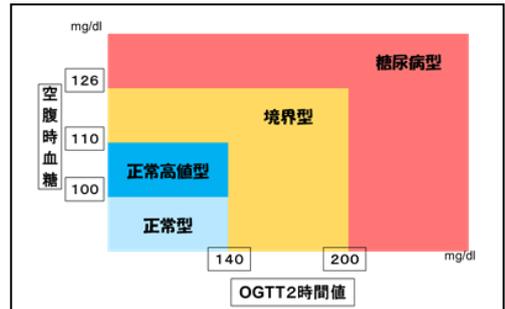


●糖尿病と診断するための検査は？



血糖値とHbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）という検査で診断されます。

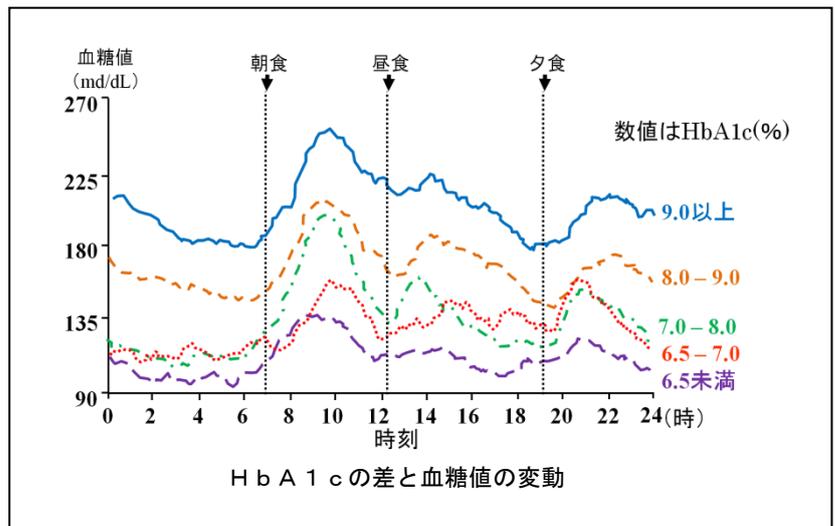
血糖値には、空腹時血糖値・随時血糖値・経口ブドウ糖負荷試験（OGTT）などがあります。①空腹時血糖は、その名の通り、お腹の空いた状態で検査をします、②随時血糖は、時間を決めずに検査を行います。③経口ブドウ糖負荷試験（OGTT）は、糖分の一種である、ブドウ糖を75g飲んでもらい、決まった時間に複数回検査をし、糖の代謝能力をみます。



HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）は、赤血球に含まれる赤色の物質で酸素を運ぶ働きをしているヘモグロビンにブドウ糖がくっついた物で、過去1～2ヶ月の血糖値を反映しています。

●定期的に検査を受けましょう

糖尿病という病気は治りません、ならないことが大事です。糖尿病になってしまい、治療により血糖値がほぼ正常にまで改善しても、糖尿病が治るというわけではありません。治療を中止すると、再び血糖値は高くなります。定期的な検査と治療を続けることが大切なのです。



◎今回のセミナーでは、皆さんがどんなことを疑問に思っているのか、どんなことに興味がお有りになるのかが分かり、我々にとってもいい経験ができました。



～開催のご案内～

いきいき健康セミナー

開催場所：当院2階 集団指導室
 予約不要・参加費無料

第9回 「アンチエイジングの為にストレッチ体操」

～老化に負けない身体作りのために～

平成28年 1月19日(火) 午後2時～午後3時

理学療法士 越智 智久

第10回 「MRI画像で見えるもの！」＜腰椎編＞

～腰が痛い時の画像を見てみましょう～

平成28年 2月26日(金) 午後2時～午後3時

診療放射線技師 下 菌 清孝

第11回 「大人のオムツあれこれ」

～お尻の健康はオムツから！オムツの選び方・当て方～

平成28年 3月15日(火) 午後2時～午後3時

看護師 福井 八重子

市民公開講座

開催場所：当院9階 すかいらーム
 予約不要・参加費無料

テーマ 「排尿のトラブルと前立腺疾患のはなし」

平成28年 3月 5日(土) 午前10時30分～午前12時

1. 講演「**排尿のトラブル**」～頻尿と夜間頻尿～

講師 泌尿器科医長 北本 興市郎

2. 講演「**前立腺のはなし**」～前立腺肥大症とがん～

講師 泌尿器科部長 安達 高久

3. **排尿のトラブルと前立腺疾患の相談**

初診の受付 月曜日～金曜日 午前8時45分～午前11時00分

診療科		月	火	水	木	金
内科		藤井	白石	日浦	今村	洲鎌
		井坂	桑原	小松 (循環器含む)	宮野	呉家
循環器内科		小松	小松	小松 (内科初診2)	/	柴田
消化器内科		大庭	倉井	山口	青木	上田
小児科		平林	谷本	藤岡	平林	藤岡
外科		貝崎	堀	高塚	堀	高塚
		/	塚本	貝崎	/	枝川/梅野
整形外科	午前	伊達	交代制	寺井	榎原	坂和
		交代制	/	/	/	/
産婦人科		田中	交代制	森下	中田	本久
泌尿器科		安達	安達	交代制	河野	安達
		河野	河野	/	北本	北本
眼科		森脇	森脇	交代制	砂田	森脇
		三宅	鹿野	/	三宅	砂田
耳鼻咽喉科		/	箕輪	松本	/	交代制
皮膚科		村上	前川	/	田口	/

編集

大阪市立十三市民病院
 広報委員会

〒532-0034

大阪市淀川区野中北2-12-27

代表電話：06-6150-8000



<http://www.osakacity-hp.or.jp/juso/>

【外来診療担当表】初診のみ掲載しています。